

## 土壌三相分布を調べる方法

◎コア重量：57g前後、及び上下フタ個々の重量は(上フタ6.5g、下フタ6.5g)です。

1. コアのみで採取したサンプルの重量を測定する。これを①生土重量とする。
2. 採取したコアに下フタをし、乾燥させ重量を測定しておく。これを②乾燥重量とする。
  - ・温度設定は105℃です。(水分を蒸発させるためと、土壌中の有機物を燃やさないため)
  - ・乾燥時間は24時間です。(土壌の湿り具合により、8時間位で乾燥してしまう場合もあります。

専門の先生方の長年の経験で土壌中に残っている水分変化が見られなくなる時間が、この位です。)

・乾燥器庫内で、ある程度サンプルが冷めてから下フタも含めて重量測定する。

3. 液相率=①-②(下フタ6.5gをマイナスする)÷100×100
4. 固相率=②乾燥重量(下フタ6.5gをマイナスする)÷土壌の真比重(※1)

(※1 土壌の真比重は、土壌の種類(土性)によって異なります。

正確には、実験室レベルで測定しなければなりません、各地域の農業改良普及所さん等に確認していただくのが、一番良いと思います。)

5. 気相率=100-(液相率+固相率)
6. 仮比重=②乾燥重量(下フタ6.5gをマイナスする)÷100(容積)

以上のことから、土壌三相分布を調べることができます。